

(長野県辰野町) 「有機農業推進のまち」宣言



町長 武居 保男

辰野町は日本列島の中心に位置し、南北に走る中央アルプスと南アルプスに囲まれ、中央に天竜川が流れています。河川の沿岸には水田が広がり、丘陵地はりんごや梨等の果樹園や普通畑として利用され、地域に根付いた農業が営まれています。

当町は「日本一のゲンジボタルの里」であり、毎年6月にはほたるの乱舞をご覧いただけます。また、春の桜や秋の紅葉、冬の雪景色など四季折々の自然を感じられ、どれも町の象徴であり観光資源となっております。そのため、町としましても自然環境に対する思いは強いものがございます。

「農業」では、以前より有機農業を推進する複数の生産者団体にご活躍いただいております。学校給食への食材提供をはじめ、中山間地で小面積の圃場が多いことから6次産業化やブランド化（付加価値）の取組に力を入れております。

有機農業及び環境にやさしい農業（化学農薬・肥料低減）の取組生産者の確保や栽培促進に尽力し、町民が一体となって有機農業推進の取り組みをすすめることに辰野町「有機農業推進のまち」を宣言します。

辰野町長 武居 保男

令和5年5月28日